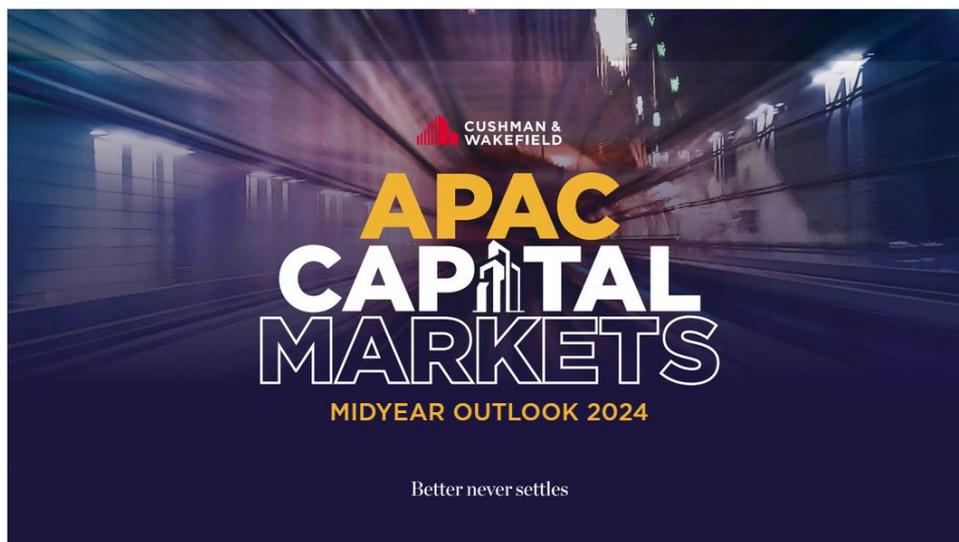


報道関係者各位

## C&W、2025 年の投資市場回復に向け、アジア太平洋地域に 700 億ドルの投資資金が待機

この大量のドライパウダー（待機投資資金）は、デット、オポチュニスティック、バリューアッド資産をターゲットにすると予想されます。

グローバル不動産総合サービス会社のクッシュマン・アンド・ウェイクフィールド（グローバル本社：米国イリノイ州シカゴ、日本本社：千代田区永田町、C&W）は、『APAC キャピタルマーケット ミッドイヤーアウトルック』レポートを発表致しました。



詳細ダウンロードは[こちら](#)から

レポートによると投資家が積極的に投資活動を再開する最適なタイミングを探る中、約 700 億米ドルのドライパウダーが投入されるのを待っていることが報告されています。同レポートは、現在の景気サイクル、2024 年上半期の APAC 投資市場の状況、将来予測、アジア太平洋地域の主要投資戦略について分析しています。

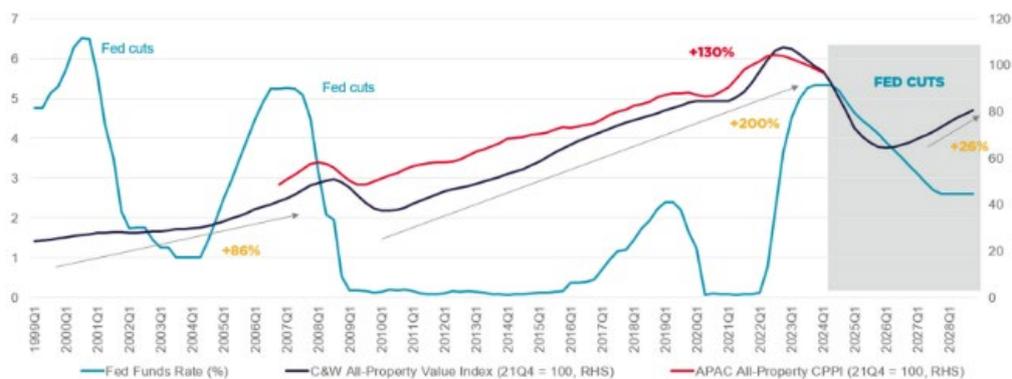
クッシュマン・アンド・ウェイクフィールドのアジア太平洋地域キャピタルマーケット部門責任者、ゴードン・マースデンは、「投資家はここ1年半から2年半の間、『様子見』の段階にあり、2025年には投資額が回復するとの期待が高まっています。昨年あたりから投資活動が活発化しているが、投資家は地域全体、そして世界全体でまだ完全に力を発揮していないでしょう。しかし、資本を利用可能で適切な資産に適合させることは、資本投下に向けて準備された多額の余力があるにもかかわらず、依然として主要な課題となっています。こうした状況を踏まえると、投資家はデッドを含め、オポチュニスティックかつバリューアッド的な投資をターゲットにすると予想されます。特にレジリエントなインカムゲイン・ストリームを通じて高いリターンを提供できる資産やセクターが最も好まれていくでしょう。」と述べています。

クッシュマン・アンド・ウェイクフィールドの国際調査部門責任者であるドミニク・ブラウン博士は次のように述べています。「アジア太平洋地域は、過去2年間の急激な金利上昇によって景気拡大が鈍化したにもかかわらず、回復力を示し続けています。成長率は減速したものの、アジア太平洋地域の大半でプラスを維持しています。事業用不動産投資は、金利ショックと特定セクターの構造変化により、2022年第1四半期のピーク時から40%減少していますが、最近の動向は安定化を示しており、市場に楽観的な見方をもたらしています。」

「今後、利下げは緩やかかつ慎重に行われ、そのペースと規模はアジア太平洋地域の各国によって異なると予想されます。アジア太平洋地域の成長の基本的な原動力は引き続き強く、『アジア太平洋の10年』としての地位を支えている状況です。同地域の成長率は2024年下半年から2025-26年にかけて4%前後で安定すると予想されており、これは、インドのような新興市場の成長が正常化し、オーストラリアや日本のような先進国経済が回復していることを反映しています」とブラウン博士は付け加えました。

また、当社リサーチ部門は、市場に大きな影響を与える可能性のある要因として、以下を挙げています：

- 地政学的分裂- 地政学的緊張の高まりは、投資戦略を再構築する可能性がある。
- 債務水準- 政府や家計の債務水準が高いため、慎重な監視が必要。
- メガトレンド- オルタナティブ資産クラスや「スルー・ザ・サイクル」資産クラスの成長は、長期的なトレンドに牽引される。
- AIとテクノロジー- AIとテクノロジーの台頭は、不動産の展望を引き続き変容させるだろう。



Source: Federal Reserve, MSCI-IFCA, Cushman & Wakefield

詳細レポートは PDF でご覧いただけます。

-以上-

## クッシュマン・アンド・ウェイクフィールドについて

クッシュマン・アンド・ウェイクフィールド（C&W）はニューヨーク取引証券所に上場している世界有数の事業用不動産サービス会社です。世界約 60 カ国、400 拠点に約 52,000 人の従業員を擁しています。施設管理、売買仲介、鑑定評価、テナントレップ、リーシング、プロジェクト・マネジメントなどのコア・サービス全体で、2023 年の売上高は 95 億ドルを記録しました。受賞歴のある企業文化や、ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン（DEI）、サステナビリティに対するコミットメントにより、業界内外から高い評価を頂いております。詳しくは、公式ホームページ <https://www.cushmanwakefield.com/ja-jp/japan> にアクセスするか公式 X @CushWake をフォロー下さい。



メディア・コンタクト:

**大谷 彩子**

マーケティング&コミュニケーションズ

+81 3 6634 0017

<mailto:saiko.otani@cushwake.com>